

千葉県言語聴覚士会ニュース

NO.28 2008年12月7日

目 次

事務局 1	作業部会 7
新理事紹介 1	施設紹介 8
学術局 2	臨床こぼれ話 9
私の地域勉強会 5	理事会等報告 10
会長から 6	事務局 14
委員会 6	求人情報 16

事務局から

会費納入のお願い

平成21年度分の年会費のお支払いをお願いいたします。年会費は前納制となっておりまので御協力ください。今回の千葉県言語聴覚士会ニュースに振込用紙を同封しましたので御利用ください。平成21年度分より年会費が会員は3,500円、会友は3,000円となります。平成20年11月時点での未納分のある方は平成21年度分に未納分を加えた額面の振込用紙を同封しています。

もし既にお支払いいただいている場合はお手数ですが正しい額を「ゆうちょ銀行 00120-6-39932 千葉県言語聴覚士会」宛にお払いください。(振替用紙の金額を訂正するには訂正印が必要となります。または郵便局に備え付けの青い振替用紙に新たにご記入いただくか、ATMをご利用いただくなどお手数をお掛けします。)

また、研修会等でも年会費の受付をさせていただきます。

本会の会則により、2年以上会費未納の場合、退会とみなされますのでご注意ください。



新理事紹介

選挙結果に関するお知らせ

【理事】木下 亜紀(のぞみ牧場学園) 担当: 学術局 生涯学習プログラム基礎講座作業部会

半年間のみですが、理事を務めさせていただきます。何分不慣れですので、皆様にご迷惑をおかけしていますが、先輩理事の方々にご指導をいただきながら何とか職務を全うしたいと思います。学術局担当として少しでも、会員の皆様の研修や連携に役立てることができるようにと皆様からのご意見をお伺いしながら取り組む所存です。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

【理事】宮下 恵子（千葉県立千葉聾学校） 担当：学術局 介護保険委員会

このたび、理事を務めさせていただくことになりました。不慣れではございますが、会長をはじめ、先輩理事の方々にご指導をいただきながら精一杯務めさせていただきます。また、微力ながら、学術局担当として、会員の皆様の幅広いニーズに役立つことができるように務めさせていただく所存です。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

学術局から

1. 第3回研修会のお知らせ

今回は、昭和大学歯学部の山下夕香里先生をお招きして、症例検討会および講演、実習、情報交換会を行います。症例検討会では、小児、成人の各分野とも構音障害の症例を行います。構音訓練についての講演・実習も予定しております。詳しくは同封の「第3回研修会のお知らせ」をご覧ください。

1. 日 時：平成21年1月18日（日）13時00分～16時40分

2. 会 場：千葉大学医学部附属病院 3階 講堂

3. 内 容： 症例検討

(1) 「構音の改善に伴う、自己像の明確化」白井市こども発達センタ - 岩田 淳

(2) 「もやもや病による運動障害性構音障害の症例」千葉県こども病院 内山 秋音

(3) 「脳梗塞による重度運動障害性構音障害の症例」船橋市立リハビリテ - ション病院 川田 智子

助言・講演・実習 「構音訓練の理論と実習～舌運動を中心に～」

昭和大学歯学部 口腔リハビリテ - ション科 山下 夕香里 先生

情報交換会

4. 参加費：研修会費 会員・会友は500円、会員外1000円、学生500円

5. 申込み：同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールでお申し込みください。

2. 平成20年度 第2回研修会報告

平成20年7月13日(日)千葉大学医学部附属病院にて平成20年度第2回研修会を開催しました。小児と成人、制度の3部会で講演会を行いました。

小児部会は「構音障害」、成人部会は「高次脳機能障害」、制度部会は「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくりの条例」の内容で行いました。

参加者は73名（うち会員55名、会員外18名）でした。研修会の概要と、当日行ったアンケート結果の一部を紹介します。

（1）研修会の概要

演題：子どもの構音障害の臨床

講師 昭和大学病院形成外科 言語聴覚士 木村 智江 先生

子どもの構音障害は、言語習得期に生じた何らかの要因によって、成人のパターンに合致しない異常な構音操作を習得したり、発達過程で見られる構音が持続して成人のパターンへの変化が見られなかつたりする状態であり、発達と学習の視点が大切であることを教えていただきました。そして構音の基礎知識、関連要因と分類、構音器官の形態と機能の異常などを解説していただきました。その後、構音障害の評価と診断や構音訓練の実際を、映像も用いて具体的に教えていただきました。書物からイメージすることは難しい発語器官の動きや声などを紹介していただけたので、参加者からわかりやすかったという感想が多く寄せられました。

当日実施したアンケートの一部を紹介します。

・説明が丁寧で、基礎知識から訓練まで幅広い内容を、具体的な評価法・訓練方法などの映像を使い分

かりやすかったです。臨床の中で具体的に配慮される点などが今後に活かせると感じました。

- ・最近、構音障害に関する研修の機会が少ない上に、書物を読んでも、舌の動きや開鼻声などを具体的にイメージすることは難しいので、今日はとてもありがとうございました（ことばの教室担当）
- ・ＳＴの臨床場面を知ることができ良かった。構音障害のＤＶＤをみてＳＴはすごいと驚きました（他職種）

演題：高次脳機能障害の基礎と実践的アプローチ

講師 帝京大学ちはば総合医療センター リハビリテーション専門医 竹内 正人 先生

まず高次脳機能障害の主な原因となる外傷性脳挫傷、脳血管疾患、低酸素脳症の治療や経過について解説され、訓練プログラムの立案との関係が示されました。次に高次脳機能障害の中でも特に生活に影響を及ぼす、注意障害、記憶障害、病識低下等の症状が詳しく解説されました。さらに機能面、心理面、環境面、行動面を含めた評価を基に、国際生活機能分類（ICF）の観点から行われるチームアプローチについて学びました。症例提示に対してはグループディスカッションを行い、講義の内容を踏まえて各自が考え、意見を交換する場も設けることができました。参加者からは、検査結果等の機能評価に加え、心理面等様々な側面も考え併せ、患者様の生活を見据えたアプローチの重要性を学んだ、等の感想が寄せられました。

当日実施したアンケートの一部を紹介します。

- ・プログラム立案・実施に際し、ICFをもとに予後予測や将来の生活の見通しを立てることが大切であることがわかりましたので今後に役立てたいと思います。
- ・機能の回復だけで終わるのではなく、機能面、心理面、環境面、行動面から本人の過去・未来の生活、またその人を取り巻く環境を見据えて必要ならば周囲への働きかけが患者さんへアプローチすると同時に大切なこと、現在どうすべきかプログラムを組み立てること、最初からプログラムを念頭においた情報収集をする大事さを学びました。
- ・グループに分かれてのディスカッション形式で、いろいろな意見を聞いて具体的に一つの症例を自分でも考えることで、先生の話が更に実感でき有意義でした。対象の方に合ったプログラムを立て、戦略的に進めていくことが重要であるとあらためて実感しました。

演題：障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくりの条例

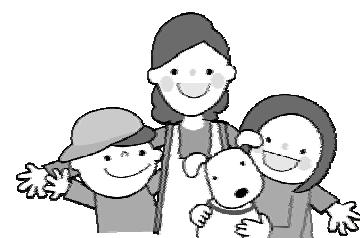
講師 毎日新聞夕刊編集部長

千葉県障害者差別をなくすための研究会座長 野沢 和弘 先生

「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくりの条例」ができるまでの経過と理念及びそのエピソードをお話しいただきました。以下に概略を紹介いたします。

日本には障害者差別禁止の法がなく、国レベルではできていないのが現状で県レベルでつくろうという動きになり、千葉県では堂本知事の重点施策の一つとして条例づくりが進められました。知事は民間の力を活用しようと考え研究会の委員を公募し、健常者も障害者も含まれた公募の委員で「千葉県障害者差別をなくすための研究会」を立ち上げ条例づくりを始めました。研究会は当初、様々な障害者がいかに自分の障害が大変かを主張し合い、議論が進みませんでしたが、お互いに自分だけが大変ではないことに気付くようになりました。

条例は、障害者のためだけのものではなく健常者・障害者がそれぞれの特性を認め合い、多様性を尊ぶ成熟社会を目指すものであり、障害者を理解しよう、理解できなければ話し合いの場を持つとうという内容のものです。差別している人の多くは、差別していることに気付いていない。しかし、罰則など設けたら皆逃げてしまう可能性が高く、それでは趣旨とは違ってきます。この条例は、少しでも障害者を社会に近づけ、社会を障害者に近づけようとするものです。そこで皆様の一人一人がかかわってきますので、全国の皆様と方向性を共有していきたいと考えています。



当日実施したアンケートの一部を紹介します。

- ・本当にいいお話を聞けてよかったです。施設の中の援助になりがちですが、彼ら(障害児)が地域で暮らすための援助をもっともっと考えていくようになりたいと思います。
- ・表面的・事務的な内容になりがちなテーマですが、条例にまつわる様々な生のエピソードを数々聞くことができる貴重な体験をしました。自分の中にも野沢先生のような"熱さ"を持ちたいと思います。
- ・千葉県でこのような条例があったこと、条例ができるまでの歴史を初めて知り感動しました。この時代を生きる者としてSTとして今日のお話を聞いた一人の人間としてできることを見つけ、みんなで生きる社会を整えていきたいと思います。
- ・条例づくりのために、障害者の方々とかかわったエピソードを聞き、障害のある人ない人、ない人の間でもある人の間でも違いは分かっているがお互い歩み寄ることは難しいことが分かりました。しかし考え方一つで変わることはたくさんあるということも分かりました。
- ・障害者への差別を考えたことがなかったので、良い機会になりました。健常者の視点だけではなく、お互いの視点で考え生活しようと思いました。また、「相手に理解してもらおうと思うなら、まず相手を理解しようと努めること」という話は、今さらですが、本当にそうだとあらためて思いました。社会に働きかける大変さも、お話を聞いて深く感じました。

(2) アンケート結果 集計数(成人29名、小児15名)部会の感想は概略に記載しています。

<研修会に参加していかがでしたか?>

- ・とても良かった 41名
- ・普通 2名
- ・期待していた内容と異なった 1名

<具体的に>

- ・学校で学んだリハビリテーションと実際の現場では求められているもののギャップを感じた。
- ・概論的な話が多いので、詳しい症例の訓練経過などについて教えてほしい。

<今後の研修会・県士会についての意見>

今後の研修会として次の希望が上がった。

構音障害/症例発表の様な具体的なアプローチ法/障害別AACの選び方や導入方法/高次脳に関する具体的な地域の取り組み/言語聴覚士がほしい情報が得られる講演会/難聴児へのアプローチ(訓練)、とくに人工内耳を装用している児童や、知的障害・発達障害などを併せ持つ聴覚障害児における、言語面についての研修

(3) 学術局より <研修会を終えて>

前回同様に分科会方式を採用しての同時開催を実施し、制度部会は合同開催を行いました。

木村先生からは構音障害の基礎にはじまり訓練方法やVTRによる訓練経過を追った詳細な映像の提供をいただき、大変わかりやすい内容でした。竹内先生からは、グループディスカッションによる会員参加型の講演会を実施していただき、プログラムの立案についての話等、現場で活かせる内容でした。

野沢先生からは、「条例」にまつわる様々なエピソードを聞くことができ、一人の人間として社会の中でどう生きていくべきなのかを深く考えさせられる内容でした。

今回の研修会も患者や利用者の方々により良い対応ができるように配慮しましたが、いかがでしたでしょうか。皆様の職場での明日からの取り組みの一助となるよう願っております。



3. 研修会ビデオの貸し出しと資料の送付

(1) ビデオの貸し出し

これまでに実施した研修会のビデオを貸し出しています。下記の要領でお申し込みください。
方 法：返信用封筒（B5またはA4サイズ）に住所、氏名を書き、切手（ビデオ1本270円
分、2本390円分）を貼り、下記宛にお送りください。

宛 先：〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1
国立精神・神経センター国府台病院 四方田 博英

貸し出しビデオ：対象となる研修会の詳細は、ホームページをご覧ください。

貸出期間：1ヶ月

* 貸し出しについての注意 *

ビデオの販売はしません。ダビングは禁止です。ビデオを紛失、破損した場合はご連絡ください。ビデオテープの代金を弁償していただきます。

(2) 資料の送付

希望者に研修会資料を配布しています。返信用封筒（A4サイズ）に住所、氏名を書き、200円分の切手を貼りお送りください。宛先はビデオ貸し出しと同様です。対象となる研修会についての詳細は、ホームページをご覧ください。

4. 「地域の勉強会」での症例検討会に参加しませんか？

会員の皆様のご協力により、各地域で勉強会が開催されています。同封の「小児多職種合同勉強会」及びホームページの「地域勉強会」を参照の上ご参加ください。また、ホームページではこの情報について随時更新を行っていますので、ぜひご利用ください。

特集：私の地域勉強会

県内各地で行われている勉強会を順番に紹介しています。今回は、「木更津地域失語症カンファレンス」です。

木更津地域失語症カンファレンス

木更津地域失語症カンファレンスは、元々君津中央病院の言語聴覚室で、学会発表などに向けて気ままに行っていた話し合いに、実習で来られた学生さんや、木更津地区に勤務される言語聴覚士が参加して出来上りました。そのため定例会は、毎月第1水曜日の6時からと決めておりますが、学会の少ない時期などはお休みもしばしばといった、本当に「気ままな研究会」です。ですので、ご参加いただける方は大歓迎ですが、その際にはぜひカンファレンスが開催されるのか？をご確認の上、お越し頂ければと思います。

会場は君津中央病院の言語聴覚室で、常連さんは6～7人の小さな会です。主な内容は「失語症」についての研究報告や研究相談です。ああ、でもそんなに堅く考えないでください。「研究」といっても、そんな大学院で行うような「研究」とは異なり、みんなが臨床を行っていて疑問に感じたこと、興味を持ったことを持ちより、「ああでもない」「こうでもない」と言いたいことを言い合う「臨床研究会」です。その中に何か、研究発表や明日からの臨床に役立つヒントを見つけていただければと考えております。「研究」は「臨床」と常に対になる大切なものです。「研究」と聞くとつい敬遠しがちになってしまい方も、研究に興味はあるけど、どうしたら良いのかわからないとお悩みの方も、ぜひご参加いただければと思います。きっと臨床研究が好きになって、お仕事が楽しくなること請け合いです。今は男性S.T.の多い会ですが、女性の方も大歓迎です。

連絡先：君津中央病院言語聴覚室 0438-36-1071（内）6731 事務担当 村西まで

会長から

委員会・作業部会訪問報告

千葉県言語聴覚士会は三つの局の他、委員会や作業部会が理事会の目や耳、手足となって働いてくださることで成り立っています。昨年度後半より会長が委員会や作業部会にお邪魔して会議に参加させていただきました。委員や作業部員の活躍のご様子を順次ご報告いたします。

高次脳機能障害委員会

11月9日(日)午後1時30分から県士会事務所で第2回委員会が開催されました。今回は、高次脳機能障害に対する認知訓練課題を将来的に会員に開示する準備として、委員の使用している課題を整理し、対象や導入法が話し合われました。単なる課題の紹介にとどまらず、その使い方まで踏み込んだ開示の方法も検討されました。2回目の会議にもかかわらず、作業が進んでいるのは、メーリングリストで密に連絡を取り合っているからとのことです。言語障害を伴わない高次脳機能障害者の臨床はもちろん、言語障害者の臨床においても認知課題の適切な使用が求められます。障害の性質が明確でなく、訓練法も手探りが多い分野で、実際の臨床に役立つ一定の道筋が示されることが期待されました。

小児言語障害委員会

11月16日(日)午後1時30分から千葉大学医学部附属病院で第4回委員会が開催されました。活発な活動を展開している委員会だけに議題も盛りだくさんで、10月に開催された「子どものコミュニケーションを育てる外房のつどい」の反省と、7月のアンケート結果の報告、それを踏まえた次の「教育にかかるSTとの情報交換会」の計画が主な議題でした。ベテランの多い委員会らしく、それぞれの議題で鋭い意見が活発に交換されているのが印象的でした。学校教育に関わるSTが徐々に増えてきている中で、STの仕事がまだまだ他職種に理解されていない現状が問題点として挙げられていきましたが、ここ数年の啓発の努力が実を結んできていることも確かにようでした。



委員会から

小児言語障害委員会

1 より明確になった「学校教育にかかる言語聴覚士の現状」

7月に、学校教育にかかる業務を行っている正会員の皆様の現状を把握し今後の活動の検討のために、「学校教育に関するアンケート」を施行しました。ご協力いただいた皆様に感謝いたします。

2 保健部門と交流できた「子どものコミュニケーションを育てる外房のつどい」

10月に、「子どものコミュニケーションを育てる外房のつどい」を茂原市役所で開催いたしました。千葉県国民健康保険団体連合会市町村保健活動連絡協議会長生支部市町村保健師研修会との共催でしたので、多くの保健師の方々に乳幼児の言語障害に対応する専門家として言語聴覚士の存在を訴えることができました。保健部門との交流ができたことは、大変有意義なことであったと思われます。また、少しづながら地元の小学校・保育園・療育施設に勤務する方々も参加しておられたことも、嬉しいことでした。

3 「千葉県内の小児言語訓練（相談）施設一覧」の改訂作業中

現在、「千葉県内の小児言語訓練（相談）施設一覧」の改訂作業を行っております。この2年の間に正会員の数や小児にかかわってくださる施設の数が増えたことを実感しつつ、もっと増えないととても対応しきれないという思いがあります。これからも、会員の皆様の小児言語障害に対するご关心・ご支援をお願い申し上げます。

4 「皆様の要望に応えた活動内容づくり」を目指して

新しい名称になり、現在、次年度からの活動の見直しを行っています。当委員会の活動に関する要望がありましたらお知らせください。お待ちいたしております。

作業部会から

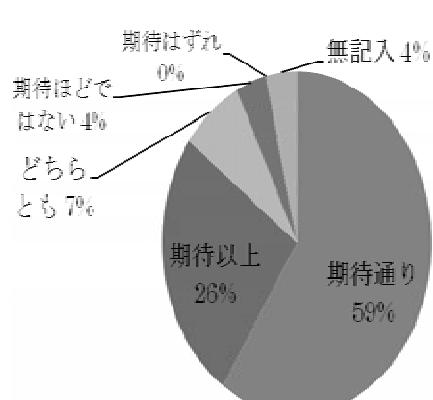
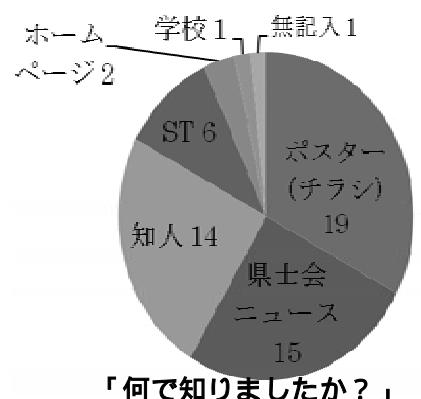
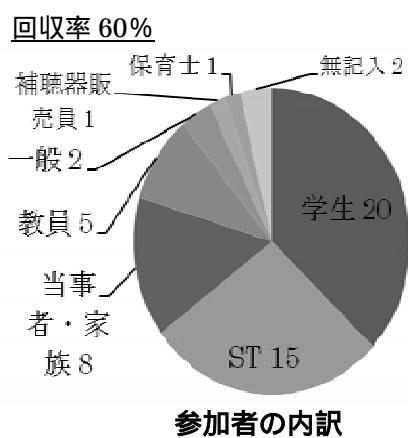
県民公開講座作業部会

第3回 県民公開講座が開催されました

平成20年10月5日(日)に、千葉市民会館(千葉市中央区)で「第3回県民公開講座」が開催されました。講座の形式といたしましては、例年まで行われていたシンポジウム形式とは異なり、テーマを1つに絞った講演会としたため、参加人数の減少が心配されました。しかし当日は天候にも恵まれ、89名と多くのみなさまにご参加いただくことができ、作業部員一同ホッとしたしました。講師には以前より言語聴覚士を支援してくださっている、国立病院機構東京医療センター・感覚器センター長の加我君孝先生をお招きして、『難聴克服のための新しい医学～小児から成人まで～』をテーマに、今話題の人工内耳のお話を一般の方々にもわかりやすくご講義いただきました。さらに講義の後半では、聴覚障害を持ちながらも世界的な活躍をとげたベートーヴェンやエジソンらといった芸術家、科学者の話が紹介され、たいへん豊富な内容となりました。また、今回は従来、講演と同時に行っていた個別相談を、講演の後に行うといった工夫もでき、個別相談を希望された方々にもゆっくりと時間を取ることができました。

参加者に実施したアンケートでは、期待通り、期待以上を合わせると8割以上の人人が講座内容に満足をいただけたという結果となりました。具体的な感想といたしましては、人工内耳について知ることができた、人工内耳の術前術後のVTRが見られて効果を実感できた、脳幹インプラントなど最新の話が聞くことができて良かったといった人工内耳に関わる意見の他、芸術家や科学者の難聴のお話が聞けて面白かった(勇気をもらえた)といった感想もいただきました。

今回の講義の中では、人工内耳は手術を受けて終わりというのではなく、その後、言語聴覚士による訓練や支援が重要となることが繰り返し伝えられ、参加くださった多くの方々に言語聴覚士の役割をご理解いただけたのではないかと感じました。またその一方で、千葉県内に在住する方が人工内耳の手術を受けた場合、言語聴覚士のフォローアップを県内で受けることが出来ず、東京の病院でフォローする場合が多いなど、千葉県内で聴覚に関わる言語聴覚士の数がまだ不足しているという現実も明らかとなり、今後の千葉県言語聴覚士会の課題が明確となる有意義な会となりました。



リハビリテーション公開講座作業部会

第2回 リハビリテーション公開講座 開催される！

昨年度に引き続き、今年度も10月11日（土）に千葉市美浜文化ホール メインホールにおいて、千葉県理学療法士会・千葉県作業療法士会・千葉県言語聴覚士会・千葉県リハビリテーション医学懇話会主催の「第2回リハビリテーション公開講座」が開催され、200名近い方々に参加していただきました。

今回は「脳卒中におけるリハビリテーション～急性期から維持期まで～」をテーマに、千葉県千葉リハビリテーションセンター長の吉永勝訓先生の基調講演の後、シンポジウム形式で「リハビリテーションでできること」を各士会の代表が講演しました。ST士会からは千葉労災病院の岩本明子氏が「言語聴覚士ができること」と題して実際に分かり易くことばや嚥下の仕組みと障害への対応を説明しました。参加者からのアンケートにも「言語聴覚療法の先生の話しが最も聞きやすかった」と好評でした。昨年度より多くの参加者に恵まれ、個別相談も多くの方に活用していただきました。

千葉県におけるリハビリテーションの発展のためにも大変意義のある企画だと思います。
ご協力いただいた会員の皆様に感謝いたします。

施設紹介

千葉市大宮学園 S T 齊藤 公人

千葉市大宮学園は千葉市の中でも緑豊かな若葉区大宮町にあり、知的障害児通園施設 ひまわりルーム（定員40名）肢体不自由児通園施設 たけのこルーム（定員20名）の2施設で構成されています。たけのこルームでは児童デイサービス事業も行っています。平成16年4月に新園舎となり、ピカピカの建物、広々とした園庭から毎日子ども達の元気な声が聞こえてきます。



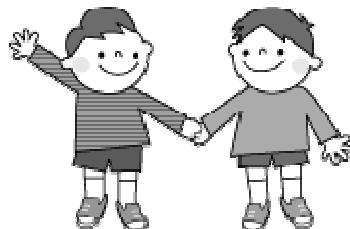
療育スタッフは保育士・指導員を中心に、PT、OT、ST、心理判定員、栄養士といった専門職、児童精神科医と小児科医、整形外科医が医療面からのサポートを行っております。

STはたった一人ですが… ひまわりルームに所属しており、言語・コミュニケーションの評価や個別指導を行う他、担任としてクラスの療育活動にも参加しています。

ここ数年の取り組みとして、子ども一人ひとりがより分かり易く自発的にコミュニケーションがとれるようにと視覚的支援（PECSなど）も活用しています。そして、STとクラス担任が協力しながら、日々子ども達と伝えあえるよう努力をしています。

自然がいっぱい毎日が楽しく活気に満ちあふれている学園です！

〒264-0016 千葉市若葉区大宮町3816-1 TEL:043-263-1560



千葉大学医学部附属病院

・・・・・ S T リハビリテーション部 長谷川 啓子

耳鼻咽喉科 常田 千佳

千葉大学医学部附属病院には言語聴覚士（以下S T）は3人あります。リハビリテーション部（以下リハ部）は、医師7名、理学療法士12名、作業療法士6名、言語聴覚士2名、秘書1名、看護師1名の総勢29名です。耳鼻咽喉科は言語聴覚士1名のみ。リハ部のS Tは、主に高次機能障害・構音障害の成人・小児を対象としており、最近は2年目のS Tが嚥下障害も少し訓練し始めています。耳鼻咽喉科のS Tは嚥下・発達・構音・音声・聴覚障害などの成人・小児を対象としていますが、実際8、9割ほどは嚥下障害です。当院は、急性期病院であり、数週間で転院することも多く、訓練に至らずに評価で終了となることもあります。県内外から来る患者様も多く、自宅近くの病院や施設で訓練できるように紹介していくことも重要な仕事となるため、地域医療連携部（ソーシャルワーカー等）が尽力しています。今まで、高度先進医療を行う大学病院でもS Tはマイナーな存在でした。最近リハビリテーションの職種ごとにユニフォームを統一したため、医療スタッフに認識してもらえるようになり、ようやく知名度が上がってきたように感じております。

〒260-8677 千葉市中央区亥鼻1-8-1 TEL:043-222-7171

臨床こぼれ話

~5年間、そして「これから」~

「私ができることって、なんだろう？」・・・そう考え続けた5年間でした。

平成15年に成田市役所・健康増進課に就職し、この3月まで「ことばの相談室」で就学前児の臨床にたずさわっていました。横浜への転居に伴い、残念ながら退職してしまいましたが、新人としてスタートしたこの5年間は何ものにも代えがたい貴重な経験となりました。S Tの仕事から離れている今、この5年間を振り返りながら、これからS Tとして仕事をしていくうえで、大切にしていきたいことを考えてみたいと思います。

新人は誰もが感じることなのかもしれません、最初の1~2年間は自分のやっていること全てが不安でたまりませんでした。先輩や他の職種の人たちに一つひとつ丁寧に教えてもらっていても、子どもやその保護者と向かい合うと予期せぬことばかり。特に保護者への対応は戸惑うこと多く、毎回のように右往左往していました。「臨床経験も子育て経験もない私に何ができるんだろう？」と、落ち込むこともしばしば。それでも、「子どもと仲良くなれば、保護者とも仲良くなれるはず！」と頑張っていました。

3年目になると、ことばの相談室での流れもわかってきて、「なんとなく」「相談・訓練らしきこと」はできるようになってきました。ところが、まだまだ形ばかりで、その根拠や方向性を理解できぬまま。忙しさにかまけて、そのまま流してしまうことにも罪悪感を覚え、「自分の臨床が果たして本当に役立っているのか？私にできることって？」と焦る日々でした。それでも、子ども達には学ぶこと・遊ぶことは楽しいんだということを知ってほしい、保護者には子ども達の成長を楽しんでもらいたいということだけを思い、なんとか頑張っていました。

結局、何事にも習得に時間がかかる私は、この5年間「何ができるんだろう？」という気持ちを克服しきれずにいたように思います。しかし、臨床から離れた今は、もう少し肩の力を抜いて考えられるようになりました・・・私だけの力で「できること」は少ないので。関わった子ども達には、大きくなった時、保護者と一緒に幸せに生きていてほしい。しかし、最終的に人生を築いていくのは子ども達本人と保護者自身の力。そう考えれば、私が何かするというより、その子が少しでも楽しく過ごせ

る方法を試行錯誤したり、保護者と一緒に悩んでいくことも、人生を切り拓いていく力を育てることにつながるのではないか。生まれて数年しか経っていない時期に、全てを解決しなくてもよいのだ。そう考えるようになりました。

そのためには、もっともっと私自身の引き出しを増やしたい。臨床のスキルを高めることはもちろんのこと、人間としての幅も広げたい。子ども達に信頼されるS.T.になりたい。そして、先が見えにくい幼児期の子どもが相手だからこそ、保護者が見通しをもてるよう、希望をもてるように励ますことができるS.T.になりたい。これから、第二の就職先を探すわけですが、自分ができることを一生懸命やって、時間がかかるても、自分らしい臨床ができるようになりますよ。

さて、10年後、20年後、この文を読んだ私は、何を感じるのでしょうか？「とんでもないことを考えて！」「若気の至り！」と恥ずかしく思うのか、「まあまあだな」と思うのか。今とはまた違った見方をしていたら、それはそれ、成長の証となりますよね。

これからも、日々精進してまいります！

(五十部祥子)

理事会・委員会等報告

平成20年度 理事会

第2回

日時：2008年5月11日（日）11：05～12：10 場所：千葉大学医学部附属病院3階 第2講堂

出席者：宇野、斎藤公人、斎藤敬子、斎藤順子、畠山、山本（以上理事6名）

久保木（書記）

1. 協議事項

- （事務局より）・第1回理事会及び平成19年度会計監査議事録 ・新入会員など ・総会スケジュール、会員数、参加人数 ・平成19年度決算報告、平成20年度予算案 ・笠本理事辞任 ・県士会ニュース27号
- （学術局より）・第2回研修会案内 ・平成19年度研修会・県民公開講座報告集
- （基礎講座作業部会より）・千葉県版開催の案内、手続き
- （組織検討委員会より）・日本言語聴覚士協会への千葉県言語聴覚士会からのお願いと提案

2. 報告事項

- （事務局より）・到着郵便物など

第3回

日時：2008年6月15日（日）10：05～12：10 場所：千葉市黒砂公民館 会議室

出席者：宇野、斎藤公人、斎藤敬子、畠山、山本（以上理事5名）

武田監事、野島小児言語障害委員長および学術局員（理事代理）酒井、太田（書記）

1. 協議事項

- （事務局より）・第2回理事会議事録 ・新入会員など ・第8回総会議事録 ・第8回総会反省
- ・理事辞任に伴う反省と今後の対策 ・選挙日程 ・平成20年度年間スケジュール
- ・日本言語聴覚士協会活動支援費担当者(新規)、学術担当者(変更) ・会費滞納賛助会員 ・後援申請
- （学術局より）・平成19年度研修会・公開講座報告集
- （社会局より）・関係諸機関への挨拶文書 ・タウンミーティング ・求人情報HP掲載依頼
- （組織検討委員会より）・日本言語聴覚士協会への提案
- （小児言語障害委員会より）・「こどものコミュニケーションを育てる外房のつどい」実施計画（案）
- ・「学校教育にかかる言語聴覚士へのアンケート」実施計画（案）
- （県民公開講座作業部会より）・県民公開講座チラシ(ニュース同封物) ・情報保障 ・参加費
- （リハビリ公開講座作業部会より）・リハビリ公開講座チラシ(ニュース同封物)

2. 報告事項

- (事務局より)・到着郵便物など ・千葉県千葉リハビリテーションセンター公開講座協賛
- ・千葉県介護支援専門員協議会代議員
- (学術局より)・第1回議事録 ・第1回研修会報告
- (小児言語障害委員会より)・平成20年度準備会議事録 ・平成20年度計画
- (生涯学習プログラム基礎講座作業部会より)・第1回議事録
- (リハビリ公開講座作業部会より)・第2回リハビリ公開講座運営委員会議事録(第6回)

第4回

日時：2008年7月13日(日)10:02～12:04 場所：千葉大学医学部附属病院 3階 第3会議室

出席者：宇野、斎藤公人、斎藤敬子、斎藤順子、畠山、山本(以上理事6名)

大足(学術局局員) 竹中(監事) 三原(書記) 稲坂(書記見学)

1. 協議事項

- (事務局より)・第3回理事会議事録 ・新入会員など ・今後の理事会のあり方 ・第3回県民公開講座助成
- ・県士会リーフレット印刷 ・千葉県地域リハビリテーション協議会委員推薦
- ・千葉県理学療法士会創立50周年記念学会後援
- (学術局より)・第3回研修会計画
- (社会局より)・挨拶文書配布先と配布方法 ・求人広告掲載条件など

2. 報告事項

- (事務局より)・到着郵便物一覧 ・第10回日本言語聴覚士協会都道府県士会協議会および第10回地域職能組織協議会 ・日本耳鼻咽喉科学会千葉地方部会訪問
- (選挙管理委員会より)・補欠選挙途中経過 (組織検討委員会より)・平成20年度第1回議事録(案)
- (高次脳機能障害委員会より)・平成20年度第1回議事録(案)
- (介護保険委員会より)・平成20年度第1回議事録(案)
- (小児言語障害委員会より)・平成20年度第1回議事録(案)

第5回

日時：2008年8月17日(日)10:00～12:00 場所：黒砂公民館

出席者：宇野、斎藤公人、斎藤敬子、畠山、山本(以上理事5名)

神作暁美(選挙管理委員長、学術局局員) 野島洋子、太田律子、北見佳代(小児障害委) 太田智子(書記)

1. 協議事項

- (事務局より)・第4回議事録 ・新入会員など ・求人広告細則文案 ・県士会リーフレット印刷
- ・千葉県健康福祉課タウンミーティング後援申請
- (学術局より)・第3回研修会計画 ・次年度第1回研修会の内容講師候補
- (社会局より)・HP一般掲示板の存続
- (選挙管理委員より)・補欠理事選報告と新理事の承認
- (小児言語障害委員会より)・外房のつどいシンポジスト変更 ・発達障害リーフレット配布計画
- ・千葉市教育委員会挨拶 (県民公開講座作業部会より)・業者展示
- (リハビリテーション公開講座作業部会より)・相談員 (聴覚障害委員会より)・アンケート実施
- (摂食嚥下委員会より)・県士会名簿の利用許可 ・過去の実態調査の情報利用 ・FAXの送信方法
- ・HP掲載依頼

2. 報告事項

- (事務局より)・到着郵便物一覧 ・関連団体、県庁訪問
- (学術局より)・平成20年度第2回研修会反省(案) ・第2回議事録(案)
- (社会局より)・第1回広報部会議議事録(案)
- (小児言語障害委員会より)・第2回議事録(案) ・第1回教育にかかるSTとの情報交換会議事録(案)
- (摂食嚥下委員会より)・第1回委員会 (リハビリテーション公開講座作業部会より)・第7回議事録(案)

第6回

日時：平成2008年9月21日(日)10:00～12:00 場所：千葉市黒砂公民館 会議室

出席者：宇野、木下、斎藤公人、斎藤敬子、斎藤順子、畠山、宮下、山本(以上理事8名)

竹中(監事) 稲坂(書記)

1. 協議事項

- (事務局より)・第5回理事会議事録・新入会員など・求人広告細則文案(継続審議)
- ・ニュースNo.28構成案・拡大理事会議題
- (学術局より)・平成21年度第1回研修会内容、講師候補・第3回研修会演題
- (社会局より)・HP一般掲示板存続
- (聴覚障害委員会より)・アンケート
- (小児言語障害委員会より)・「外房のつどい」配布依頼文書
- ・「子どものことばを育てる外房の集い」参加者アンケート
- (県民公開講座作業部会より)・業者展示・相談員・当日スケジュール
- (リハ公開講座作業部会より)・相談員および協力員

2. 報告事項

- (事務局より)・到着郵送物など・PT、OT、ST士会役員連絡会報告・いすみ市教育長訪問報告
- (組織検討委員会より)・第2回議事録(聴覚障害委員会より)・第1回議事録
- (小児言語障害委員会より)・第3回議事録(リハ公開講座作業部会より)・第2回実行委員会議事録

第7回

日時: 平成2008年10月26日(日)10:03~12:00 場所: 千葉市療育センター 会議室

出席者: 宇野、木下、斎藤公人、斎藤敬子、斎藤順子、畠山、宮下、山本(以上理事8名)

武田(監事) 酒井(書記)

1. 協議事項

- (事務局より)・第6回理事会議事録・新入会員など・求人広告細則文案(継続審議)
- ・ニュース掲載求人広告・中間決算報告・協会との連絡網「生涯学習」担当理事選出
- (学術局より)・平成21年度第1回研修会講師候補・第3回研修会チラシ
- (社会局より)・「北陸嚙下セミナー」案内HP掲載(聴覚障害委員会より)・アンケート内容
- (県民公開講座作業部会より)・今年度報告と来年度開催予定

2. 報告事項

- (事務局より)・到着郵送物など・千葉市障害企画課訪問報告・千葉県障害者計画への意見提出報告
- (小児言語障害委員会より)・第1回教育にかかる言語聴覚士との情報交換会
- (摂食嚙下障害委員会より)・第1回議事録(聴覚障害委員会より)・第2回議事録
- (生涯学習プログラム基礎講座より)・第2回議事録
- (リハビリテーション公開講座作業部会より)・第2回リハビリテーション公開講座報告

平成20年度 社会局

第1回 広報部会議

日時: 2008年7月12日(土)14:30~16:00 場所: 高洲コミュニティセンター

出席者: 大石、加藤、斎藤、山川(以上4名)

・ST所属施設一覧について・掲示板について

平成20年度 学術局

第1回

日時: 2008年5月11日(日)18:00~19:00 場所: 千葉大学医学部附属病院 3階 第2講堂

出席者: 宇野、大足、大浦、神作、木下、田野、長岐、野島、前里、前田、宮下、山本

(委任状出席)羽山、四方田、寄本(以上局員13名、理事2名)

・第1回研修会反省・平成20年度年間局計画確認、役割分担・第2回研修会計画確認、役割分担・症例検討会(第3回)助言者、症例発表者検討・ニュース原稿作成手続き確認・報告集時期

第2回

日時: 2008年7月13日(日)18:00~20:00 場所: 千葉大学医学部附属病院 3階 第2講堂

出席者: 大足、大浦、神作、木下、田野、長岐、野島、前里、宮下、寄本

(委任状出席)羽山、前田、四方田(以上局員13名)

・第2回研修会反省 ・第3回研修会計画 ・平成21年度第1回研修会計画 ・ニュース原稿作成手続き

平成20年度 聴覚障害委員会

第1回

日時：2008年8月10日（日）10：00～11：30 場所：プラザ菜の花 サークル室 palB室

出席者：猪野、佐藤くみ、佐藤真紀、常田（以上4名）

・役割分担 ・活動方針 ・アンケート内容 ・分担 ・今後予定

第2回

日時：2008年9月7日（日）10：00～12：30 場所：プラザ菜の花 サークル室 palA室

出席者：猪野、佐藤、常田（以上3名）

・活動内容に関する再検討 ・活動方針修正 ・アンケート内容 ・今後予定 ・公開講座相談員

平成20年度 組織検討委員会

第1回

日時：2008年7月6日（日）9：30～11：00 場所：ロイヤルホスト津田沼店

出席者：平山、番、鎌田、山本、吉田（以上5名）

・都道府県士会協議会報告 ・理事選出方法 ・学術局組織改編 ・会費や近隣都県との関係 ・地域ブロック

第2回

日時：2008年8月31日（日）9：30～11：00 場所：ロイヤルホスト津田沼店

出席者：平山、番、鎌田、吉田（以上4名）

・千葉県言語聴覚士会理事選出方法 ・千葉県言語聴覚士会活性化 ・RST協会と千葉県言語聴覚士会の関係

平成20年度 小児言語障害委員会

第1回

日時：2008年6月8日（日）9：30～12：30 場所：千葉大学医学部附属病院 言語訓練室

出席者：宇井、太田、北見、那須、野島、長谷川（以上6名）外房のつどい協力者 矢部

・平成20年度小児言語障害委員会準備会議事録 ・平成20年度小児言語障害委員会計画案 ・学校教育に関するアンケート ・教育長訪問、県庁健康福祉部訪問 ・子どものコミュニケーションを育てる外房のつどい ・発達障害リーフレット ・教育に関わる言語聴覚士との情報交換会

第2回

日時：2008年7月27日（日）9：37～10：10、12：20～14：30 場所：千葉大学医学部附属病院 言語訓練室

出席者：宇井、太田、那須、野島、長谷川（委任出席）北見（以上6名）

・子どものコミュニケーションを育てる外房のつどい今後 ・諸団体挨拶 ・発達障害リーフレット配布 ・学校教育に関するアンケート ・小児言語障害委員会活動内容検討

第3回

日時：2008年8月31日（日）9：30～12：30 場所：千葉大学医学部附属病院 言語訓練室・第3会議室

出席者：太田、北見、木下、武井、那須、竜木、野島、長谷川（以上8名）

・次回教育に関わる言語聴覚士との情報交換会 ・「子どものコミュニケーションを育てる外房のつどい」内容、日程、講師依頼状等 ・「学校教育に関するアンケート」結果と分析 ・小児言語障害委員会活動内容見直し

平成20年度 高次脳機能障害委員会

第1回

日時：2008年6月29日（日）9：00～11：15 場所：千葉県言語聴覚士会事務所

出席者：齊藤、佐藤、鈴木、榎本、廣瀬（以上5名）

・役割分担 ・今年度活動計画

平成20年度 介護保険委員会

第1回

日時：2008年6月29日（日）15：05～16：25 場所：千葉県言語聴覚士会事務所
出席者：宇野、太田、勝又、酒井（以上4名）
・役割分担 ・今年度活動計画 ・介護支援専門員協議会代議員会報告

平成20年度 摂食嚥下障害委員会

第1回

日時：2008年7月12日（土）20：30～22：00 場所：ココス鴨川店
出席者：斎藤、根本（以上2名）
・今年度活動計画 ・今後予定

第2回

日時：2008年10月4日（土）21：00～22：00 場所：デニーズ鴨川店
出席者：斎藤、根本（以上2名）
・摂食嚥下訓練における実態調査 ・研修会検討

平成20年度 基礎講座作業部会

第1回

日時：2008年5月18日（日）10：30～12：00 場所：千葉県言語聴覚士会事務所
出席者：荒木、宇野、岡松、塘、西脇（以上5名）
・活動総括 ・平成20年度事業計画 ・専門講座 ・部会の役割分担 ・今後の予定

第2回

日時：2008年9月28日（日）10：00～12：45 場所：千葉県言語聴覚士会事務所
出席者：岡松、木下、塘、西脇、野島（以上5名）
・基礎講座受講申込み、仕事内容、当日役割分担 ・来年度基礎講座、専門講座 ・来年度基礎講座講師養成

（紙面の都合上、報告事項と協議事項はまとめて記載しています。）

事務局から

1. 入会のお誘い

当会に入会されていない方は、ぜひご入会くださるようお願い申し上げます。入会ご希望の方は、ホームページにても入会方法をご案内申し上げておりますのでご覧ください。また、お近くに未入会の言語聴覚士の方がいらしたら、入会をお勧めくださいますようお願い申し上げます。

2. 住所・勤務先変更届けについてのお願い

住所や勤務先など、入会時にされた登録内容に変更があるときは、お手数ですがなるべく速やかに、事務局まで郵便またはFAXにてご報告くださいますようお願いいたします。変更届は会のホームページよりダウンロードすることもできます。会よりの郵便物がお手元に届くのが遅れるなど不都合がございますので、ご協力お願いいたします。

3. リーフレットの配布

千葉県言語聴覚士会のリーフレットを所属施設に置きたい、研修会などで配布したい等のご希望がありましたら、必要部数と連絡先を明記し、事務局までお申し込みください。追ってご連絡いたします。また県士会ホームページにも掲載されていますので、ご覧ください。

4. 新入会員のお知らせ（敬称略）

会員数：正会員315名・会友46名・賛助会員：6団体+1名

（平成20年11月9日 理事会承認分まで）

・・・正会員・・・

綾野 昭子（千葉徳洲会病院）	下石 弥生（白金整形外科病院）
大石 斐子（東京湾岸リハビリテーション病院）	塩谷 寿子（四街道徳洲会病院）
木村 文子（介護老人保健施設杜の街）	高野 麻美（船橋市立リハビリテーション病院）
松野 史恵（成田市役所）	川田 智子（船橋市立リハビリテーション病院）
大森 麻衣子（富里市簡易マザーズホーム）	建石 歩惟（船橋市立リハビリテーション病院）
宇都宮 永江（成田市役所保健福祉館）	奥田 夏子（船橋市立リハビリテーション病院）
伊原 寛子（大野中央病院）	青木 美紀（市原市発達支援センター）
鈴木 麻由美（千葉県こども病院）	夏目 彩可（東京湾岸リハビリテーション病院）
栗原 明子（東京湾岸リハビリテーション病院）	宮崎 寛夫（東葛飾障害者相談センター）
鈴木 法子（医療法人社団葵会介護老人保健施設葵の園我孫子）	

・・・会友・・・

真崎 美穂（昭和大学藤が丘リハビリテーション病院）	北川 奈央子（渡辺病院）
櫛原 真以子（湘陽かしわ台病院）	山崎 未貴（医療法人社団明正会）



編集後記： あっという間に年末。1年が過ぎるのは早いものですね。雑誌や新聞を読んでいると、時間管理や夢を実現させるための手帳術といった特集をよく見かけるようになりました。来年こそは、上手に時間を使って、充実した1年にしたいものです。あれ？去年もこんなと考えていたような・・・さあ、頑張るぞ！

事務局

〒263-0023 千葉市稻毛区緑町2-1-9 103号室

TEL/FAX：043-243-2524

E-mail : chibakenshikai@zp.moo.jp

ホームページ : <http://chibakenshikai.moo.jp/> 会員専用パスワード : affordance

.....求人情報.....

詳細は千葉県言語聴覚士会ホームページ（<http://chibakenshikai.moo.jp/>）をご覧ください。
【表の見方】 募集内容（記載がなければ言語聴覚士の募集） 業務内容、住所、連絡先

LD・Dyslexia センター	
	常勤／非常勤等の勤務形態、人数等 非常勤、若干名
	対象・業務内容等 発達性 dyslexia、SLI、小児失語症：評価、訓練
	住所 市川市市川南3-1-1-315
	連絡先（電話等）・担当 LDDX2004@hotmail.com 宇野、春原

医療法人社団曙会 流山中央病院	
	常勤 1名（経験者または新卒者）
	主に脳外科急性期および回復期病棟、外来における成人対象の言語聴覚療法：失語症、構音障害、高次脳機能障害、摂食嚥下障害、など (急性期から維持期までトータルに経験できます。)
	〒270-0114 流山市東初石2-132-2
	電話 04-7154-5741 担当：リハビリテーション科 安田

医療法人社団 愛友会 介護老人保健施設 ハートケア流山	
	常勤（新卒可） 言語聴覚士1名、作業療法士2名、理学療法士1名
	成人対象とした各リハビリテーション業務
	〒 270-0118 千葉県流山市小屋146-1
	電話 04-7178-2200 担当 事務部 松尾 稔

医療法人社団大倉会 大倉リハビリクリニック	
	常勤／非常勤等の勤務形態、人数等 (言語聴覚士以外の場合は職種) 常勤1名
	対象・業務内容等 クリニック・通所リハビリテーションにおいての言語聴覚士業務
	住所 〒290-0011 千葉県市原市能満1531-90
	連絡先（電話等）・担当 0436-41-1177 杉山直美